

# 「産油国ネットワーク会議(同窓会)」開催(UAE)

## 1. 宮沢洋一経済産業大臣ご出席の下、同窓会を開催

2015年1月18日、アブダビ市内のインターコンチネンタルホテルにおいて産油国ネットワーク会議(同窓会)を開催しました。UAEでの開催は2012年に続いて2回目になります。UAEの研修卒業生を対象に幅広く参加を呼びかけた結果、参加した総数は、UAE側65名、現地の日本人側関係者13名の合計で78名に達しました。

日本側からは、宮沢洋一経済産業大臣ほかにご出席頂き、UAE側からは、マイサ アル・シャムシ国務大臣(H.E. Dr. Maitha Salem Al Shamsi, Minister of State)ほか多くの要人にご出席を頂きました。席上、アブドラ ナセル アル・スウェイディ 総裁(H.E. Abdulla Nasser Al Suwaidi, Director General, Abu Dhabi National Oil Company: ADNOC)と中井毅 JCCP 代表執行理事・専務理事との間で今後の協力強化に関する書簡の交換を行いました。

### (1) 宮沢経済産業大臣が来賓としてスピーチ

日本側は、宮沢洋一経済産業大臣をはじめ、上田隆之資源エネルギー庁長官、鈴木英夫 通商政策局長など一行のほか、加茂佳彦 在 UAE 日本国大使と大使館関係者及び、在 UAE 日系石油関係企業関係者が出席されました。

宮沢経済産業大臣はスピーチで、JCCPの設立以来長年にわたる産油国に対する石油精製分野における人材育成及び技術協力の貢献について述べ、「特に UAE は日本に累計 800 名を超える研修生を送り、今日、その卒業生の多くが UAE 政府や ADNOC の要職に就かれ、日本との強い信頼関係を形作っている」としました。このため日本政府は、従来の JCCP 研修事業に加え、2013 年、安倍総理とムハンマド UAE 副大統領/ムハマド アブダビ皇太子との会談時の「日 UAE 共同声明」で発表された、ADNOC 職員の JCCP と



来賓としてスピーチを行う宮沢経済産業大臣

JOGMEC での研修事業を今年度から開始する旨、表明するとともに、今後も両国関係の強化を願っていると語りました。

### (2) マイサ国務大臣、アル・スウェイディ ADNOC 総裁が来賓としてスピーチ

UAE 側は、マイサ国務大臣、アル・スウェイディ ADNOC 総裁、アリ カリファ アル・シャムシ ADNOC 戦略調整局長(Mr. Ali Khalifa Al Shamsi, Director, C.P.&C)、ムバラク アル・ケトビ ADNOC 物流精製副局長(Mr. Mubarak S. Al Ketbi, Deputy Director-M & R)及び、イスマイル アル・ムラ上級副社長(総務担当)(Mr. Ismail M. Al Mulla, Offsite & Refinery Utilities Dept. Ruwais Refinery Division) アブダビ石油精製会社(Abu Dhabi Oil Refining Company: TAKREER)などの要人のほか、現在、主要な部署で活躍している研修卒業生が集いました。

マイサ国務大臣はスピーチで、「JCCPはUAEにおける人的資源成長の大いなる要因となっており、自分自身、UAE 大学副総長時代の 2001 年から JCCP と一緒に仕事をさせて頂き、JCCP の友人として誇りに思う」と語り、UAE の人材育成に対する貢献に対して感謝の意を表しました。また、アル・スウェイディ ADNOC 総裁はスピーチで、JCCP のこれまでの人材育成及び技術協力の貢献に対して感謝の意を表すると



来賓としてスピーチを行うマイサ国務大臣



来賓としてスピーチを行うアル・スウェイディ ADNOC 総裁

もに、培われた良好な関係を今後も維持・強化していきたいと期待を述べました。

### (3) ADNOCとJCCP間で今後の協力関係に関する書簡を交換

宮沢経済産業大臣、マイサ国務大臣及びアル・スウェイディ ADNOC 総裁のそれぞれからスピーチ（前述）を頂いた後、アル・スウェイディ ADNOC 総裁と中井毅 JCCP 代表執行理事・専務との間で今後の協力強化に関する書簡交換を行いました。これは、これまでの長期にわたる交流により築いてきた友好関係のさらなる関係強化を図ることを目的として、双方がさらに協力して事業に取組むこと確認するためのものです。



ADNOC-JCCP の書簡交換  
(左より) アル・スウェイディ ADNOC 総裁、  
加茂在 UAE 日本国大使、宮沢経済産業大臣、  
マイサ国務大臣、中井 JCCP 代表執行理事・専務理事

同書簡交換に続いて、研修卒業生を代表してスルタン モハメッド アル・ムッラさん (Mr. Sultan Mohamed Al Mulla, ADNOC) (マーケティングコース卒業生) とハイアット アル・シハリさん (Ms. Hyatt Al Shihri, Bunduq) (人事、CSR コース卒業生) が、各自の研修経験を簡単に語るとともに乾杯の音頭を取りました。会合中、日本文化の紹介として飴細工職人のよる実演と既に現地に伝わっている餅つきが披露され、会場を盛り上げては皆さんの興味を集めていました。出席した研修卒業生からは、かつての日本での研修を懐かしみながら、各テーブルで和やかな歓談の輪が広がっていました。



卒業生の方々

## 2. 同窓会を終えて

今回の産油国ネットワーク会議（同窓会）の開催により得られた成果としては、以下の2点があります。

第一に、宮沢経済産業大臣に出席頂いたことです。

宮沢大臣が国際再生エネルギー機関（IRENA）第5回総会出席のため、1月16日からUAEを訪問する際に、本同窓会への出席をお願いしたところ、多忙な中時間を割いて出席頂きました。これにより、JCCPが石油資源の安定供給確保に有効な日本とUAEの友好関係の強化に多大な役割を果たしていることを、改めて発信する機会になったと考えます。

第二に、人的ネットワーク構築と維持の大切さです。

今回、開催までの準備期間は2週間と短かったため、一番の懸念はUAE側への連絡と出欠確認でしたが、当日、UAE側からは前述したとおり、研修卒業生は勿論のこと多数の要人に出席頂きました。これは、JCCPのこれまでの貢献の証ですが、具体的には、現地事務所を通じた地道な日々の交流の努力とともに、研修の講師を務めた職員と受講生が強い人間関係を築き、帰国して歳月を経てもなお、急な呼び掛けに応える信頼関係を保っていることにあります。こうした事実から、今後も産油・産ガス各国の研修生・卒業生と私も職員一人ひとりのネットワーク力を高めるとともに、それを維持し継承していくことが大切です。それによりいざという時に真価が問われる友好関係の礎が築かれると信じます。



同窓会に集った方々

### \*産油国ネットワーク会議（同窓会）について\*

産油国ネットワーク会議は、JCCPが実施する人材育成事業及び技術協力事業について、産油国側での効果や評価を確認し、今後の効果的な事業運営に役立てること、それと共に、日本との人的交流を強固なものとするを目的としています。また、JCCP事業活動への継続的な支援協力を要請し、産油国においてJCCPを通じた当該国とのネットワークの構築によって、日本との関係強化を促進すること。さらに、卒業生には、産油国各国の石油会社の幹部や責任者になっている方も多いため、日本への原油供給の安定化に資することを念頭に開催しています。これまでに第1回は2012年11月、UAEで開催。第2回は2014年3月、サウジアラビアで開催。今回の開催は第3回目になります。

(参与 菅原 忠)